

佐賀県立博物館・佐賀県立美術館



秋には佐賀インターナショナルバルーンフェスタが開催される「バルーンの街」、佐賀市。その中央部に位置する佐賀城公園には、佐賀県立博物館（1970年開館）、佐賀県立美術館（1983年開館）が隣り合って建っています。両館は一体的に運営され、佐賀県の特徴ある歴史や文化に関する資料の収集や展示・紹介を行い、佐賀県の文化活動の拠点として広く親しまれています。

また、2018年4月には、近代日本を代表する洋画家、岡田三郎助のアトリエを東京・渋谷から博物館東隣に移築復原して、一般公開しています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：佐賀県佐賀市城内1-15-23
- 電話番号：0952-24-3947
- ホームページ：<http://saga-museum.jp/museum/>
- 開館時間：9時30分～18時00分
- 休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）・年末、県展の準備等のための休館日があります。
※詳しくは、佐賀県立博物館・佐賀県立美術館にお問い合わせください。
- 駐車場：無料 ※台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
- 交通：JR佐賀駅から市営バス「博物館前」下車すぐ・「サガテレビ前」下車徒歩2分・「県庁前」下車徒歩10分、佐賀大和I.C.から車で約20分

●【博物館】1号展示室（常設展）（博物館2階）

「佐賀の大地」と「佐賀の生き物」をテーマに、岩石や化石、野鳥や有明海の生物の標本などを展示しています。

●【博物館】2号展示室（常設展）（博物館3階）

原始・古代から近代までの佐賀の歴史を通史展示しています。吉野ヶ里遺跡出土資料や佐賀の七賢人に関する資料など、多彩な考古・歴史資料をご覧いただけます。



1号展示室（常設展）



2号展示室（常設展）

●【博物館】大展示室（博物館3階）

佐賀県内の民俗資料を一堂に紹介しています。国指定の重要有形民俗文化財である有明海漁撈用具など、佐賀ならではの貴重な資料を多数ご覧いただけます。



●【美術館】OKADA-Room（常設展・美術館1階）

佐賀に生まれ、日本近代洋画の礎を築いた洋画家・岡田三郎助。館蔵の作品を中心に、その名品をご覧いただける常設展示室です。年数回の展示替えを通じて、岡田三郎助やそのゆかりの洋画家たちの画業や生涯、その芸術の素晴らしさをダイナミックにお伝えします。



●岡田三郎助アトリエ（博物館東隣）

岡田三郎助が数々の名画を描いたアトリエを東京から移築。2018年4月に公開開始。明治末期に建てられた歴史ある建物で、一般見学のほか、研修室やイベント会場等として多目的にご利用できます。



●維新博メモリアル展示“幕末維新記念館”

明治維新150年を契機に開催し、多くの人に感動と勇気を与えた「肥前さが幕末維新博覧会」。その博覧会のメインパビリオンを再び体験することができます。



●その他施設

茶室「清恵庵」、画廊、ミュージアムカフェ、美術館ホール（487席）、屋外展示場「アラカシ広場」、古賀忠雄彫刻の森、障害者用トイレ、コインロッカー、授乳室

●学習のポイント

佐賀県立博物館では、常設展で佐賀県の歴史と文化を総合的に紹介。また、佐賀県立美術館では常設展 OKADA-ROOM のほか、館蔵品を中心にコレクション展を開催。団体見学に対しては、学芸員による展示解説を行っています。

佐賀県立九州陶磁文化館



今から約 400 年前、日本で最初に磁器が作られた有田。佐賀県立九州陶磁文化館では、有田焼や唐津焼をはじめ、九州各地の陶磁器の歴史や文化を学ぶことができます。

江戸時代の有田焼約 1000 点を展示する世界屈指の『柴田夫妻コレクション』や、江戸時代に長崎出島から世界へ輸出された有田焼の里帰り品を展示する『蒲原コレクション』をはじめ、九州各県の古陶磁、現代作家作品をお楽しみ頂けます。そのほか、定刻に音楽を奏でる「有田焼からくり時計」や有田町と姉妹都市のドイツ・マイセン市から贈られた「マイセンの鐘」もみどころです。

日本磁器発祥の地で、みなさまの御来館をお待ちしております。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1
- 電話番号：0955-43-3681
- ホームページ：<https://saga-museum.jp/ceramic/>
- 開館時間：9 時 00 分～17 時 00 分
(入館は 16 時 30 分まで)
- 休館日：月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)
年末 ※施設改修のため令和 3 年 1 月 1 日から 3 月 31 日まで臨時休館
- 入館料：無料 ※特別企画展は有料 (なお、特別企画展中でも高校生以下は無料)
- 駐車場：無料
- 交通：JR/松浦鉄道 有田駅から徒歩約 12 分
波佐見有田インターチェンジから車で約 10 分

●第1展示室（特別企画展ほか）

特別企画展やテーマ展等を展示。また、茶室が併設されています。

●第2展示室（常設展）「現代の九州陶芸」

九州各県の間人国宝をはじめとする優れた陶芸家の作品を展示しています。



●第3展示室（常設展）「九州の古陶磁」

九州各地の古陶磁が展示されています。

佐賀県の唐津焼をはじめ、有田焼（初期伊万里・古伊万里・柿右衛門）・鍋島焼などの製品のほか、長崎県の亀山焼・現川焼・平戸焼、福岡県の高取焼・上野焼・須恵焼、熊本県の網田焼・小代焼・八代焼、大分県の小鹿田焼、宮崎県の蓬莱山焼（丸山焼）、鹿児島県の薩摩焼（龍門司・苗代川）、沖縄県の壺屋焼など、江戸時代に九州で開花した多彩な焼物を紹介しています。



●第4展示室（常設展）「九州陶磁の歴史」

九州陶磁の源流である中国・朝鮮陶磁の流れから日本陶磁の歴史、有田焼とオランダ貿易の特色など、絵画パネルや年表を用い、グローバルな有田焼の歴史を分かりやすく学べます。江戸時代に世界へ輸出され日本に里帰りした豪華な有田焼の蒲原コレクションも必見です。



●第5展示室（常設展）「柴田夫妻コレクション」

柴田明彦・祐子夫妻から 10,311 点寄贈された世界有数の有田焼コレクションです。その中から約 1,000 点を展示。毎年一度展示替えをされており、江戸時代の有田焼の変遷や江戸時代の食器文化が分かります。



●その他施設

カフェ、ミュージアムショップ、講堂（約 200 席）、茶室、多目的トイレ（有田焼トイレもあります。）

●学習のポイント

まず初めに、第4展示室「九州陶磁の歴史」の見学をお薦めします。歴史を学んだあとは、「柴田夫妻コレクション」、「九州の古陶磁」、「現代の九州陶芸」の展示室を巡ってください。エントランスでは、館蔵品の画像を用いたやきものパズルにも挑戦できます。現代の有田焼の窯元達によって制作された「からくり時計」もお見逃しなく。

*学芸員による展示解説（要事前申し込み）

佐賀県立名護屋城博物館



天下統一後に豊臣秀吉がおこなった大陸侵攻（文禄・慶長の役）における出兵拠点となった唐津市の名護屋城跡。

その場所に 1993 年に開館した県立名護屋城博物館は、「日本列島と朝鮮半島との交流史」をメインテーマに様々な展覧会やイベントを開催しているほか、遺跡の保存整備も進めています。

歴史ある唐津のまちで、みなさまのお越しをお待ちしています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：佐賀県唐津市鎮西町名護屋 1931 番 3
- 電話番号：0955-82-4905
- ホームページ：<http://saga-museum.jp/nagoya/>
- 開館時間：9時00分～17時00分
- 休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）・年末
- 駐車場：普通車 58 台（身障者用 3 台含む）、大型バス 6 台 無料 ※名護屋城跡と共用
- 交通：長崎自動車道多久インターより車で約 70 分
JR 唐津駅より車で約 30 分。

●常設展示室（2階）

原始・古代から近現代にいたる日本列島と朝鮮半島との交流の歴史をメインテーマとし、その資料を展示しています。



●その他施設

貸しホール（500席）、ミニシアター、図書閲覧室・ビデオコーナー、企画展示室、障害者用トイレ

●学習のポイント

常設展示室は「日本列島と朝鮮半島との交流史」をテーマにしています。原始・古代からの中世に至る時代、文禄・慶長の役、江戸時代以降の時代にわけて紹介しています。

また、名護屋城跡や周辺陣跡の発掘調査の成果を紹介するコーナーも設けています。

小学生～中学生向けのワークシート（クイズ形式）等もご用意できます。

＊「バーチャル名護屋城」「名護屋城跡案内アプリ」

専用タブレット端末の無料貸出あり、ただし台数限りがあります。

また、「バーチャル名護屋城」用タブレット端末については、休館日・雨天時は貸出ができません。

ホール（500席）にて、「幻の巨城 肥前名護屋城」（10分間）を上映可能。

ガイドンスとしても利用できます。



佐賀県立佐賀城本丸歴史館



佐賀城本丸歴史館は、天保期の佐賀城本丸御殿の遺構を保護しながら復元した施設で、2,500平方メートルの規模を誇ります。

館内では幕末・維新时期を先導した佐賀藩の科学技術や鍋島直正をはじめとした佐賀の偉人たちの功績を分かりやすく紹介しています。皆様の御来館を心からお待ちしております。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：佐賀県佐賀市城内2-18-1
- 電話番号：0952-41-7550
- ホームページ：<https://saga-museum.jp/sagajou/>
- 開館時間：9時30分～18時00分
- 休館日：年中無休（ただし、12月29日～31日は休館、他にも臨時休館日あり）
- 駐車場：119台（バス駐車場9台含む）
- 交通：JR佐賀駅から車で約10分
佐賀駅バスセンターの3番のりばから【6】佐賀城跡線に乗車。
佐賀城跡バス停で下車してすぐ。（約10分）
佐賀空港からバスで約20分
- 入館料：無料（募金のご協力をお願いしています。）

●外御書院

一之間～四之間と廊下を合わせると 320 畳にもなる当時の大空間を体感できます。幕府からの贈答品やお世継ぎのお披露目など佐賀藩の公式行事が行われていました。



外御書院

●御三家座

10代藩主鍋島直正が再建した佐賀城本丸御殿。当時の「佐賀城御本丸差図」や古写真などをもとに復元しました。佐賀城の特徴や佐賀城本丸御殿の復元過程を知ることができます。



御三家座

●御料理間

80 インチの大型モニターや透明ディスプレイで佐賀藩の近代化を紹介。また模型を使い幕末佐賀藩が推進した科学技術の成果を学ぶことができます。



御料理間

●御座間

「鯨の門」とともに現存する天保期の建物で、藩主鍋島直正の居室でした。
(佐賀市重要文化財)



御座間



鯨の門

●その他施設

ミュージアムショップ、コインロッカー、多目的トイレ、授乳室

●学習のポイント

天保期の姿をのこし、佐賀の乱の銃弾跡も刻まれている「鯨の門」(国重要文化財)や天守台、石垣など佐賀城の敷地内を散策してください。その後、館内をじっくりと見学してください。*ボランティアによる解説あり(要事前申込み)

佐賀県立宇宙科学館



佐賀県西部の武雄市に1999年に開館した宇宙科学館は、緑に囲まれた抜群の自然環境のもと、太陽系、銀河系などの宇宙をはじめ、自然環境や科学について、子供から大人まで楽しみながら学ぶ体験型の科学館です。

池ノ内湖畔の自然豊かな環境の中で、みなさまをお待ちしています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所：佐賀県武雄市武雄町永島 16351
- 電話番号：0954-20-1666
- ホームページ：<http://www.yumeginga.jp>
- 開館時間：9時15分～17時15分（平日）、9時15分～18時00分（土日祝）
- 休 館 日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）（GW・夏休み期間は無休）
- 駐 車 場：約500台、無料
- 交 通：長崎自動車道・北方ICより車で約15分
- 宇宙発見ゾーン（常設）（3階）

太陽系や銀河系、宇宙に関する最新の天文学に触れ、惑星探検やロケットの打ち上げ、月面歩行などの疑似体験により、宇宙への夢を育みます。



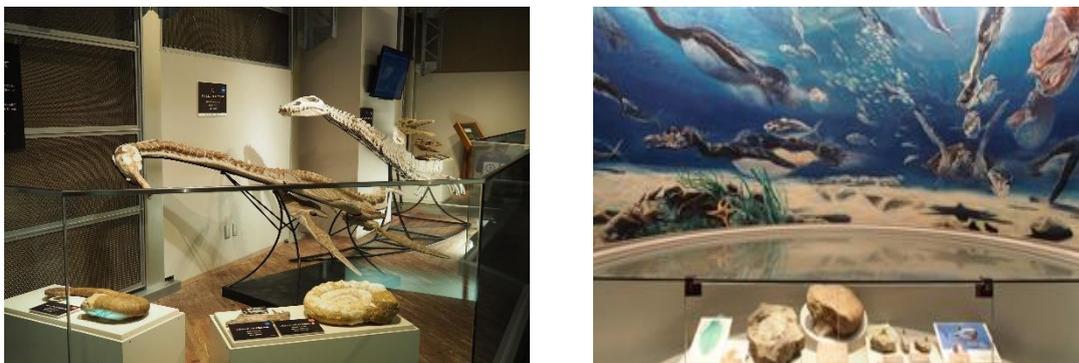
●地球発見ゾーン（常設）（1・2階）

3つのテーマをもとに参加体験型のアイテムを展示しています。
高所に張られたロープを自転車で疾走して物理を学ぶ体験のほか、宇宙と地球、そして私たち生命とのつながりを科学の視点から学びます。



●佐賀発見ゾーン（常設）（1階）

太古の地球へと誘う地底トンネルや、佐賀の水辺の生き物を集めたアクアリウム、地震体験マシンなど、さまざまな自然の営みを紹介しています。



●その他の施設

ミュージアムショップ、レストラン、図書室、天文台、プラネタリウム（200席）、企画展示室、科学実験室、障害者用トイレ、こどもの広場（授乳・おむつ交換所）、救護室

●学習のポイント

科学館では学校の体系的な教育とは違い、来館者の「知りたい」「やってみたい」という気持ちを触発し、好奇心の扉を開けるきっかけをつくりたいと考えています。

科学館は必ずしも子どものためだけの施設ではありません。大人も子どもも、年齢にかかわらず、共に楽しみ学ぶためのワクワクする仕掛けが多数あります。

宇宙科学館でのひとは、児童・生徒が自らの体を使い、考え、行動する「科学する心」を育む絶好の機会となります。